

2023年度 自己点検評価表

2024年6月27日

みらいTO日本語学院

評価項目

*評価 (A 達成・B 一部達成・C 取り組みを検討中・D 改善が必要)

I	教育理念・目標	評価
I-1	理念・目標・育成人材像は明確か	A
I-2	学院の将来構想を描くために、日本並びに海外の動向やニーズを調査しているか	A
I-3	学院の教育目標、育成人材像は、日本の高等教育機関、実業界のニーズの向けて方向づけられているか	A
I-4	学院の日本語教育・国際教育の特色は明確になっているか	A
I-5	学院の目標・育成人材像・特色などが学生・経費支弁者・仲介機関・進学先教育機関等に周知されているか	A

II	学校運営	評価
II-1	日本語学校設置基準ならびに法務省告示校認定の要件に沿った適切な運営がなされているか	A
II-2	運営組織や意思決定機能は、規則等により明確され、かつ有効に機能しているか	A
II-3	教務・募集・財務等の組織の意思決定システムは整備されているか	A
II-4	目的・目標に沿った事業計画が整備されているか	A
II-5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	A
II-6	人事・給与に関する制度は整備されているか	A
II-7	専任教員・非常勤講師は適切に配置されているか	A
II-8	専任教員・非常勤講師の授業・教務等の作業は負担は妥当であるか	A
II-9	教育内容の改善を図るために専任教員と非常勤講師の情報交換は密接に行われているか	A
II-10	地域社会からの意見の収集・分析・応答の仕組みができているか（苦情・要請対応等）	B
II-11	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A
II-12	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	A
II-13	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	B
II-14	学生や経費支弁者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防措置及び是正処置）を確立しているか	A
II-15	学生や経費支弁者、その他利害関係者が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談方法を案内しているか	A

III	教育環境	評価
III-1	施設・設備は教育上に必要性に十分対応できるように整備されているか（教室・講師は学生数、時間割に合わせ無理なく配備されているか、トイレや椅子などの数は学生定員に対して十分余裕があるか）	A
III-2	自主学習に必要な図書・自習室を配置し、必要な書籍等が購入されているか	A
III-3	進路指導に必要な資料・データは十分揃っているか	A
III-4	授業に必要なコンピュータ・プロジェクター・映像音響機器が設置または配備可能な状態か	A
III-5	教室内及び廊下・階段・トイレ等に日本語学習や日本社会のルール・学生規則等が学べるような張り紙等の掲示が適切な表現・言語でなされているか	A
III-6	学院設備・備品等が定期的に管理・点検され、適切なタイミングで補修・補充されているか	A
III-7	教室や図書室、その他学院内のスペース及び各種教材・教具・備品の利用にあたって利用割り当て（スケジュール管理）が明確にされているか	A
III-8	教職員に対して、学習・生活指導のための教育訓練や安全教育のための避難訓練等を実施しているか	A
III-9	防災に対する体制は整備されているか	A
III-10	校外に学生を引率する際に安全性を高め、トラブルが起きないように指導されているか	A

IV	教育活動	評価
IV-1	教育理念、人材育成像や日本社会（地域社会・進学先・就職先等）の要望を踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確化されているか	A
IV-2	自主学習を含む学習時間・学習方法として、カリキュラムの目的や要件に対応し、学生の生活時間や学習時間に配慮した設計がなされているか	A
IV-3	授業科目の内容、時間配分に関し、体系的に編成されているか	A
IV-4	入学許可の前提としている日本語能力レベルやその他要件などに不足がないかを事前に確認できているか	A
IV-5	JLPT等公的試験及び志望校合格等の学生の目標到達が実現できるカリキュラム、教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A
IV-6	シラバスには到達目標が記載されているか	A
IV-7	シラバスには到達目標や授業スケジュール表等が学生に事前に明示・公開されているか	A
IV-8	カリキュラムの作成・見直し等に関し、定期的に評価や意見を取り入れているか	A
IV-9	学生や経費支弁者、仲介機関等に対して、成績評価や卒業要件、学生規則等を明示しているか	A
IV-10	学生の成績・進路・経済状況その他プライバシーに関して閲覧制限が適切に設定され個人情報保護されているか	A

V	教育の内部質保証システム	評価
V-1	学生に対するアンケート実施等で適切な体制で授業評価を行っているか。評価の内容や方法、手段、スケジュールは適切か	A
V-2	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、学習環境等を確認・検証しているか	A
V-3	教職員の職務記述書を作成し、適切な時期に見直しているか	B
V-4	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	B
V-5	教職員の職務に対する意欲や満足度についてヒアリングを行っているか	A
V-6	日本語教育や留学生指導、入管申請事務等に関して、最新の知識・技術を習得するために研修参加や実施、その他の取り組みを行っているか。またその取り組みを記録・評価・活用できているか	A
V-7	指定校推薦や校長推薦等で学生や他校生よりも優位な立場で進学・就職できるような取り組みを実施し、効果が表れているか	A
V-8	志願者やその経費支弁等の個人情報保護の対策が取られているか	A
V-9	法令、日本語学校設置基準の遵守と適切な運営がなされているか	A
V-10	文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	B
V-11	内部監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	A
V-12	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	A
V-13	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	A
V-14	自己点検・評価結果を公開しているか	A

VI	学修成果	評価
VI-1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施しているか	A
VI-2	進学志望者の進学率の向上、高位維持が図られているか	A
VI-3	就職志望者の就職率の向上、高位維持が図られているか	A
VI-4	JLPT等の日本語試験の合格率並びに日本留学試験各教科の得点率の向上、高位維持が図られているか。	A
VI-5	退学率の低減・低位維持は図られているか	A
VI-6	卒業生及び在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	A
VI-7	学生の評価目標並びに評価範囲を整理し、記述できているか	A
VI-8	教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュールおよび根拠を明示しているか	A
VI-9	成績証明書等、評価結果が社会的信用性を高める形式になっているか	A
VI-10	特別授業や講習、校外学習において外部の講師に委託する場合、目的・要望・最終目標及び要件が伝達できているか	A
VI-11	卒業生の進学・就職後に本学院の教育効果・問題がどのように影響を与えているかを把握し教育活動の改善に活用されているか	A

VII	学生支援	評価
VII-1	進学・就職に関する支援体制は整備され、学生や経費支弁者、仲介機関等に周知されているか	A
VII-2	学生相談に関する体制は整備されているか	A
VII-3	経費支弁者、在日親族、仲介機関等と適切に連携しているか	A
VII-4	図書室・自習室・自習用教具・進学情報資料（入試過去問等）の利用など学習サポートについて案内しているか	A
VII-5	学院内奨学金制度、学外奨学金制度情報の明示、適切なアルバイト先確保のための指導等、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A
VII-6	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A
VII-7	学習に遅れがみられる学生に対してリメディアル教育や補習等の対策を講じているか	A
VII-8	学生が日本文化学習や地域社会の行事・活動に参加し、日本社会に溶け込むための支援を行っているか	A
VII-9	来日前の母国における日本語教育機関と本学院で適切に連携を取り、入学後スムーズに学習が進められているか	A
VII-10	来日直後の生活必需品の購入や各種契約（インフラ・通信等）、公的機関への諸手続き等で必要な支援が行われているか	A
VII-11	在学期間中のビザの更新や変更、年金の手続き、各種受験の申込みに対して学生に事前に周知させ適切な補助が行われているか	A
VII-12	学内・学外で発病、事故、対人関係トラブル等が生じた場合に学院として適切な支援・助言ができる体制が整っているか	A
VII-13	登下校時の天候不順、または在学期間中に大規模災害が発生した場合、迅速に正確な情報を伝達し、学生が適切な対応を取れる体制が整っているか	A

VIII	学生募集	評価
VIII-1	学生募集活動は国の基準や学院の募集要項・教育理念・目標に照らして適正に行われているか	A
VIII-2	学生の履歴書や経費支弁能力の立証に関する書類を適切に入手・管理が行われているか	A
VIII-3	ホームページや募集要項等に選考方法や、入学に必要なスキル、書類等の要件が明示されているか	A
VIII-4	ホームページや学校案内、募集要項等に選考料や学費等の留学に必要な諸経費が明示されているか。また学費返金等に関する条件等が明確になっているか。	A
VIII-5	学生募集活動において、本学院の理念・目標、留学生の実情や教育成果等が正確に伝えられているか	A
VIII-6	学生の評価手段及びその基準、発行される証明書・卒業要件等について説明しているか	A
VIII-7	教育の履行、安全管理、アルバイトや宿舎の確保、個人情報の取り扱い、等の学院側の義務と責任を学生や経費支弁者、仲介機関に案内しているか	A
VIII-8	学費や寮費等の価格設定がサービスに対して妥当なものになっているか	A

IX	財務	評価
IX-1	財務について会計監査が適正に行われているか	A
IX-2	財務情報公開の体制整備はできているか	A
IX-3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	A
IX-4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A

X	社会貢献・地域貢献	評価
X-1	学院の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	B
X-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	B
X-3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	B